

狂戀夜叉

帝キネ 時代映畫

原作並脚色者
監督者

楠 善苦勞
高木 英雄
鍋本 榮一郎

主要役割

美根澤左金吾	實川 延松
津築兵庫之助	藤岡 林太郎
青柳新十郎	木島 要之助
大道寺藏人	小島 洋々
魚屋金八	濱田 八重
水茶屋のお艶	歌川 八重子
左金吾の母	尾崎 静子
同 妹	松葉 笑子



「狂戀夜叉」帝キネ高木英雄氏作。右より實川延松氏と歌川八重子嬢。

解説——「涙の馬子唄」について高木英雄氏が監督製作した時代劇である。略筋——成草名代の水茶屋小室に不思議な女お艶と呼ばれた女があつた。仇を討つ浪人美根澤左金吾及び旗本津築兵庫之助、江戸勤番青柳新十郎の三人は互に異つた考へを以つてお艶の許へ通つてゐた。そしてお艶に大道寺藏人といふ夫のある事を知らなかつた。藏人こそは左金吾兄妹が尋ねる仇であつた。お艶に奔弄されることも知らず三人はある日お艶の家を尋ねたが既に彼女は姿を消した後だつたので三人の間には醜い争ひが起つた。一方藏人を探れる左金吾の母と妹とは哀れにも返り討ちにあひ、それを聞いて左金吾が馳けつけた時既に二人はこの世の人ではなかつた。漸く目覚めた左金吾は奮然として藏人に斬りかゝつた。兵庫之助、新十郎と助力して遂に藏人とお艶を仆したが、數ヶ所の手傷に再び起つことの出来ぬを知つた三人は一樣に割腹して果てたのである。